

令和4年度を迎えるにあたって

令和4年4月1日

令和4年度を迎えるにあたって一言ご挨拶申し上げます。  
まずもって令和3年度については誠にご苦勞様でした。それぞれの担当課に於いて、全ての町民に寄り添いながら知恵を絞り、スピード感を持って業務を進めてくれたことに感謝します。

先ほどは1名の新規職員、異動及び係長以上の昇格等職員、並びに特別職である新しい教育長には町長室にて辞令を交付したところです。その際にはそれぞれの抱負をお聞きし、新たな時代の自治体の職員として大変期待しているところです。職員の皆さんの支えなしには富加町政を適正に運営することはかなわず、皆様にはそれぞれの能力を最大限発揮してくれることを期待しています。

本年は一般職職員が4名退職し、新規採用職員は1名となりました。令和3年度と比較して3名の減員となり、組織としては想定外の事態に十分な対応ができず、本日に至ったことは忸怩たる思いがあり、反省をしているところです。本年度の役場組織については年度途中の職員採用も含め早急な対応を検討しており、皆様のご協力を願うばかりです。

本年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策に追われることとなります。全国的にお落ち着きつつあるといえども、富加町に於いて昨年は累計27名の感染者であったのが、今年に入り、3月31日現在、153名の感染者が発生し（累計180名）特に最近では若年層の感染が目立ち、今後こども園、小・中学校のコロナ対応については一層の注意が必要とされ、まだまだ安心して生活ができる状況には至っていません。

町民の皆様のご協力と努力によって、なんとかコロナに耐えてきたというのが本音ですが、感染者数を実績データから分析すると町民の約30名に1人が既に感染していることとなり、無視できない危機的な状況でもあります。今後もワクチン接種を順調に進めてゆき、継続した感染防止対策の徹底等、職員の皆様のご協力をあらためてお願い申し上げます。

ウィズコロナ・ポストコロナ社会の中においても、町民の皆様の安全・安心を第一に、社会・経済活動が継続できるよう、継続して取り組む必要があります。まだまだ

気を抜くことはできません。今後も継続的にご苦勞をかけることになりましたが、何卒よろしく願いいたします。

毎年お願いしていますが、今年も3つのこと「行政マン・行政ウーマンの誇りと自覚」「コンプライアンスの重視」「いつも笑顔でさわやかに」を忘れず業務にあたるよう心掛けてください。自治体職員を志したからには、どんなにつらく苦しい時があったとしても、一人で悩むことなく上司や同僚に相談するなどして解決に向けての努力を惜しまないようにしてください。必ず道は開け、それを乗り越えることができるかと信じています。それにはポジティブな「こころ」を持つことが肝要です。そして心身ともに、健康であることは、良い仕事をするための条件です。これからも是非、交代で休めるときには休むよう、一緒に働いている方々とよく相談をして、努力をしてください。コロナ対応にも十分気をつけられ一層の飛躍を期待しています。

富加町長 板津 徳次